

事務事業名		佐野市文化協会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	産業文化部	担当課	文化振興課
	政策	2	生涯にわたり学びのあるまちづくり				担当係	文化振興係	担当課長名	浅野良一	
	施策	2	歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4	文化・芸術活動の促進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2096	一般	2	1	16	佐野市文化協会支援事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業					市単独事業				
		任意的事業・義務的事業					任意的事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H17年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市補助金等交付規則					
	実施方法	事業分類					一部委託				
		リーディングプロジェクト					該当なし				
					市長マニフェスト					該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
佐野市文化協会に補助金を運営費補助として交付している。 ※佐野市文化協会とは、文化及び芸術活動を通じて、文化団体相互の連携を図り、広く市民参加を求めて、市民文化の向上を期することを目的とした団体である。			(市の活動)佐野市文化協会に補助金を支出するための手続き(実績報告書、申請書、交付決定、補助金交付)を行う。市民文化祭の共催(春・秋) (佐野市文化協会の活動)総会、市民文化祭(春・秋)、各部門の活動推進、佐野桜の配布。会員研修会、市長を囲む文化懇談会、児童生徒写生大会、設立10周年記念第5回文化振興御大会、会報「さの文化」の発行、両毛5市、県南5市関係事業等							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			文化協会の会員数(正会員、賛助会員)	人	2,074	1,824	2,100	2,100	2,100	
			文化協会が実施する事業の参加者数及び入場者数	人	10,408	12,145	11,000	11,000	11,000	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
(支援対象団体) 佐野市文化協会			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			文化協会の会員数	人	2,074	1,824	2,200	2,200	2,200	
			文化協会加入団体数	団体	109	103	105	105	105	
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的 佐野市文化協会の円滑な運営と財政の健全化を図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			文化協会の会員数	人	2,074	1824	2,200	2,200	2,200	
			文化協会が実施する事業の参加者数及び入場者数	人	10,408	12145	105	105	105	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
活動の発表が積極的に行える。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			文化活動団体登録数	団体	132	119	140	142	142	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	2,626	2,626	2,626	2,626	2,626	
	事業費計(A)	千円	2,626	2,626	2,626	2,626	2,626	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	2,626	補助金	2,626	補助金	2,626
	人件費	人	2	2	2	2	2	
のべ業務時間	時間	1,200	1,700	1,200	1,700	1,200		
人件費計(B)	千円	4,669	6,700	4,729	6,700	4,729		
トータルコスト(A)+(B)	千円	7,295	9,326	7,355	9,326	7,355		

事務事業名	佐野市文化協会支援事業	担当部	産業文化部	担当課	文化振興課	担当係	文化振興係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和54年の旧佐野市を始め、同時期に田沼町、葛生町でも、市民の芸術文化の向上を図るため、それぞれ文化協会を設立し、個々の文化団体の育成、支援をしてきた。平成17年4月に合併し、新佐野市文化協会が設立した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	それぞれ旧市町にあった文化協会の設立時に比べて、多種多様な文化団体が加入している。合併により、新文化協会に生まれ変わり大きな組織となったので、会員の高齢化、協会事務の増大化となっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成22年に市監査委員から、外郭団体の事務に市職員が従事することは問題があると指摘され、平成23年4月から、専任の事務局長を配置し、改善を図った。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	協会の活動内容の見直しを図り、効率的な運営を図るため、児童・生徒写生大会は、自主運営を行った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	文化協会を支援することにより、本市の文化振興が図られる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	本市には芸術文化の振興の責務があり、市民との協働の面からも支援が欠かせない。またこうした業務を行う民間やNPOが本市には存在しない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	佐野市文化協会を支援することにより、本市の芸術文化の振興が図られる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	佐野市文化協会の充実を図ることにより、市民の文化、芸術に対する意識が高まる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	文化協会を運営する上で必要なものであり、削減を見込めない。当課は事務局として事務局長1名、職員2名で事務を進めているが、人件費のついてこれ以上削減できる余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	協会自ら、加入団体から会費を徴収している。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	佐野市文化協会が自立して協会運営が行えるようになれば廃止できる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 協会の活動内容を見直しながら、協会の存在をより多くの市民に認識してもらい、会員数の増加を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	新規事業の考案とうが必要である。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			